

選手注意事項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2020年度日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項により運営する。
- (2) 招集場所は第2ゲートに設ける。招集完了時刻の5分前に係員により点呼があるので、競技者本人がナンバーカードの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人でもよい。
- 招集完了時刻は、トラック競技は競技開始20分前とし、組数により時差を設ける。跳躍競技は走高跳、三段跳、女子走幅跳が40分前、男子走幅跳が50分前、棒高跳は2時間前とする。投てき競技は砲丸投、ハンマー投、女子円盤投が30分前、男子円盤投、女子やり投が40分前、男子やり投が50分前とする。
- 混成競技は両日とも第1種目は招集場所で招集を行う。2種目からは控室で、トラック競技は競技開始の20分前、フィールド競技は30分前をめどに点呼を行う。
- (3) 競技に出場しない選手・チームはプログラムにつけられている「欠場届」を招集所に提出すること。
- (4) 申し込み後の変更は、理由の如何を問わず認めない。
- (5) ナンバーカードはそのままの形でユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。トラック競技に出場する選手は、主催者が用意する腰ナンバー標識を右腰後方に付けること。ただし、男子混成1500m、女子混成800m、男子5000m、女子3000m、男女5000m競歩は主催者が準備したナンバーカードをつけること。その際、正規ナンバーカードを持参すること。
- (6) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。
- (7) リレー競技に出場する学校は、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。出場するチームは、同一のユニフォームを着用すること。
- (8) 跳躍競技のバーの上げ方については下記の通りとする。(ただし、状況により変更することがある)

1位の決定戦は、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって行う。

走高跳	男子	練習 1m60 1m80	1m65 1m70 1m75 1m80 1m85 1m90 1m95 2m00 以後3cm刻み
	女子	練習 1m25 1m45	1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 以後3cm刻み
棒高跳	男子	練習 2m90 3m60 4m00	3m00 3m20 3m40 3m50 3m60 3m70 以後10cm刻み
	女子	練習 1m90 2m50 3m00	2m00 2m10 2m20 2m30 2m40 2m50 以後10cm刻み

※棒高跳の練習はゴムバーを使用

※男子棒高跳の練習は7月24日(土)女子終了後~17:30の間、メイン競技場で行うことができる

- (9) 計測ラインは次のように予定する。(ただし、状況により変更することがある)

男子	砲丸投	9m00	円盤投	27m00	やり投	42m00	ハンマー	なし
	走幅跳	5m80	三段跳	11m00				
女子	砲丸投	7m00	円盤投	20m00	やり投	25m00	ハンマー	なし
	走幅跳	4m50	三段跳	9m00				

※三段跳の踏切板は、砂場まで男子11m、女子9mとする

※ただし、トップ8は計測ラインを設けない。

- (10) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、現地で審判員が渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (11) 競技用具については棒高跳用ポールを除き、競技場備付のものを使用する。
- (12) 助力について・・・スタンドからの助言は、競技運営並びに他の競技者の妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴の為に勝手に当該競技エリアから離脱することや文章連絡は認められない。また、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を、競技区域内で所持または使用することはできない。
- (13) 混成競技者控室は、本競技場地階1階トレーニング室に設ける。

2 表彰について

- (1) 種目別表彰のみ行う。
- (2) 8位までの入賞者は、当該競技終了後直ちに表彰者控え席に集合すること（控え席は正面エントランスロビー出入口とする。）

4 その他

- (1) 競技場の開場時間は初日7：30～、2日目以降7：00とする。
- (2) 学校受付は陸上競技場玄関ロビーにて行う。
- (3) 大会中のけがは医務室にて応急処置のみ行うが、その後については各自で対処すること。
- (4) 各校補助員は、7月24日（金）は9時に、7月25日（土）・7月26日（日）は8時30分に集合場所（会議室5A）に集まり、補助員係主任の指示を受けること。
- (5) 人の呼び出しや各校の個別の用件のための「放送施設」の使用は行わない。ただし、重要かつ緊急を要することについてはこの限りではない。
- (6) 写真・ビデオなどの撮影については所定のビブスを着用すること。
- (7) 競技に支障のあるような応援はしないこと。メインスタンド最前列に立っての応援は禁止する。
感染防止のため集団応援は禁止とする。
- (8) 新型コロナウイルスに対する大会参加に際する留意点について
 - ・新型コロナウイルスの感染状況によっては、突然の大会の中止の可能性がある。

【大会当日】

 - ・当日の腋下体温が37度を超える場合の観戦は控えること。
 - ・大会前日と当日の2日間連続で腋下体温が37度を超える選手は参加できない。
 - ・大会当日朝に初めて体温が37度を超えた場合、大会への参加を見送ること。
 - ・密閉空間、密集、近距離での会話や発声、以上3つを回避するよう各個人・各校で徹底すること。
 - ・各自の責任で、手洗い、うがい、マスク着用を励行すること。
 - ・器具を触った手で口や目に触らず、競技終了後入念な手洗いをすること。
 - ・コップ等の使いまわしを禁止し、マイカップや使い捨ての紙コップを準備すること。

【大会後】

 - ・大会終了後2週間以内に感染が確認された場合、直ちに主催者に報告すること。